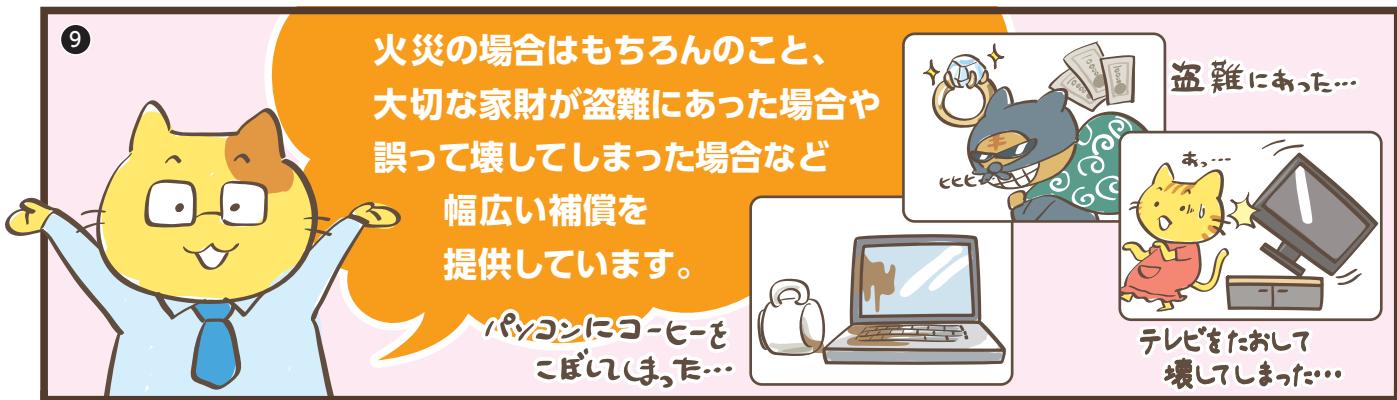


家財の保険

お忘れではないですか？



※失火法：「失火の責任に関する法律」の略。日本では伝統的に木造住宅が多く、一度火災が生じると被害は広範囲に及び、もし失火者がすべての損害賠償を負うとしたら大変酷です。そうした背景のもとこの「失火法」は制定され、失火者は損害賠償責任を負わないと定められています（失火者に重大な過失がある場合を除きます。）。

家財の保険、お忘れではないですか？

「建物の保険に加入しているので、家財の保険までは不要…」、
「そもそも家財が補償されているか分からぬ…」、
こう思われている方が多くいらっしゃいます。

本当にそれで大丈夫でしょうか？

「自分の家は大丈夫！」と思っていても、
マンションの上階や隣家からの火災など予期せぬ事故が起こる場合もあります。

ご自宅の家財、だいたいこれくらいの額になります。

「家財なんてそんなにあるの…？」そう思われる方も多いと思います。
しかし、ふだん何気なく使用している家財も、見直してみると高額になることが分かります。
たとえば、4人家族（世帯主の年令40才）の場合、標準的な家財の評価額は、
なんと…1,400万円にもなります。

標準世帯における家財評価額（再調達価額）の目安（2022年10月現在）

家族構成	夫婦のみ	夫婦+子ども（18才未満）1人	夫婦+子ども（18才未満）2人
世帯主の年令			
27才以下	550万円	640万円	730万円
28才～32才	710万円	800万円	890万円
33才～37才	990万円	1,080万円	1,170万円
38才～42才	1,220万円	1,310万円	1,400万円
43才～47才	1,400万円	1,490万円	1,580万円
48才以上	1,480万円	1,610万円 (子どもは18才以上の場合)	1,700万円 (子どものうち1人は18才以上の場合)

※上表は再調達価額の目安となります。上表にない家族構成の場合は、代理店・扱者または当社までお問い合わせください。
※1個または1組の再調達価額が30万円を超える貴金属・宝石、美術品等は、再調達価額に含みません。

家財の評価額について
さらに詳しく
知りたい方は、
こちらのパンフレット
をご覧ください。



「家財も大きな財産です」

「GK すまいの保険」は、幅広い補償を提供します！

補償範囲の広い「フルサポートプラン」であれば、万が一の時も安心です。



地震保険もお忘れなく！

地震保険は、地震・噴火またはこれらによる津波を原因とする火災、損壊、埋没または流失による建物や家財の損害を補償します！
※「GK すまいの保険」では、地震等を原因とする損害は補償されません。



※このチラシは「GK すまいの保険（すまいの火災保険）」の特徴をご説明したものです。

詳細はパンフレットまたはご契約のしおり（普通保険約款・特約）等をご覧ください。

三井住友海上火災保険株式会社

MS&AD INSURANCE GROUP

（チャットサポートやよくあるご質問などの各種サービス）
<https://www.ms-ins.com/contact/cc/>

こちらから
アクセスできます▶



● ご相談・お申込先

<https://www.kazai-hoken.jp>
取扱代理店 株式会社保険企画